# 信越化学工業株式会社の工場見学報告

11 月 13 日に安中市にある信越化学工業㈱の松井田工場と敷地内にあるシリコーン電子材料技術研究所を１３名(高崎支部９、前橋支部１、渋川支部３)で工場見学を行なった。信越化学工業㈱は、売上が２兆４千億円、従業員 26,000 名の総合化学メーカーであり、石油資源への依存度が低く環境負荷も低い素材である塩化ビニル樹脂の世界最大手として、インフラ、住宅、生活を支えている。また、世界トップシェアのシリコンウェハー等では産業の「デジタル化」、「グリーン化」に貢献し、電子機器の高性能化、小型軽量化、省電力化に貢献している。今回見学した松井田工場のシリコーンは、無機と有機の性質を兼ね備えた高機能樹脂で、耐熱性、耐寒性、耐候性、電気特性、撥水性、離型性など多くの特性をもつ。性状もオイル、レジン、ゴムと多様で、電気、電子、自動車、化粧品、ヘルスケア、食品など幅広い産業分野に使われている。技術開発力は、知的財産などをもとにした世界的に最も影響力のある「Clarivate Top 100 グローバル　イノベーター2025」に選出された。同賞の 14 年連続受賞は、当社を含め９社であり化学企業では当社のみとのこと。以上の事業所概要や製品などの説明を受けた後に、建物を出て工場見学を行なった。大型のタンクや背の高い蒸留塔が林立し、それらを金属パイプでくまなくつなぐ姿は化学工業プラントでした。プラントを品質面や安全面から集中監視する管理室も見学した。また、天然ガスを燃料としたコージェネレーションシステムを導入し、電力と蒸気を併産して事業所内に供給して省エネルギーと温室効果ガスの削減にも取り組まれていた。今、日本で重要な生活インフラと半導体産業を素材で支える世界のトップ企業が群馬県にある事を知り誇らしく感じた。

（修５２Ｐ　馬坂達男）